



## 平成30年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年3月27日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ  
コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03-3562-7521  
四半期報告書提出予定日 平成30年4月11日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年8月期第2四半期の業績（平成29年9月1日～平成30年2月28日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	10,685	5.7	422	3.4	408	3.4	242	7.7
29年8月期第2四半期	10,099	10.1	408	72.7	394	79.9	224	162.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	97.21	93.10
29年8月期第2四半期	88.83	85.95

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	9,651	2,327	23.4
29年8月期	9,664	2,107	21.2

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 2,259百万円 29年8月期 2,050百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年8月期の業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,271	5.8	601	14.4	581	16.9	311	46.6	124.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期2Q	2,532,400株	29年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	30年8月期2Q	40,048株	29年8月期	40,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期2Q	2,492,378株	29年8月期2Q	2,532,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善傾向にあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、個人消費は、高額品を中心とした持ち直しの動きがみられるものの、力強い回復には至っておらず、先行き不透明な状況が続いております。また、景気回復基調が続く中、人材採用難の長期化が大きな経営課題になっております。

このような状況下、当社は、厳選した新規出店と既存店対策、オリジナルブランド Happy Candle（ハッピーキャンドル）・H&D（エイチ アンド ディ）の確立、EC（ネット通販）事業の拡大及び従業員の働き方改革や社会貢献活動等を通じた企業イメージの向上を当事業年度の重点課題として取り組んでおります。

店舗展開につきましては、年末年始商戦に向けた積極投資を実施し、松本店、岡山店、つがる柏店、甲府昭和店の4店舗を新規出店するとともに、既存店舗の活性化として、幕張新都心店の増床、宮崎店・パルナ店の移転改装、鹿児島店・福岡店等のオープン什器設置や時計コーナー新設等、合計12店舗の改装を実施いたしました。

営業施策につきましては、お客様に手に取って選んでいただけるオープン陳列の売り場展開、値ごろ感のある価格帯の商品拡充を継続し、4店舗の新規出店にあわせた協賛セール、高額商品の予約販売会やジュエリー・イタリアブランド等の販促キャンペーンを実施いたしました。

オリジナルブランド商品につきましては、秋冬の新作リリースにあわせたファッション誌とのタイアップ企画を実施し、ビジュアル面を強化した売り場を展開したことで、計画を上回る販売実績となりました。

ECにつきましては、前年度に引き続き大手通販サイト内の店舗の改善、自社サイトのスマートフォン対策の強化、買い上げ率向上策やオリジナルブランド商品強化を実施いたしました。

働き方改革の施策につきましては、在職1年以上の準社員・正社員を対象としたストックオプションを発行するとともに、店舗スタッフの年間休日数の拡大や待遇改善に取り組み、従業員のモチベーションアップにつながる人事施策を実施いたしました。

商品部門別の売上の状況は以下のとおりです。

- ・宝飾品は、催事等による販売強化に加え、人気商品の展開やオリジナルブランド商品を強化したことにより、売上高 1,839,470千円（前第2四半期累計期間比 6.3%増）となりました。
- ・時計は、高額海外ブランドの販売が好調に推移し、売上高 3,222,006千円（同 13.3%増）となりました。
- ・バッグ・小物は、一部の海外主力ブランドの入荷不足がありやや苦戦したものの、オリジナルブランドが好調に推移し、売上高 5,623,806千円（同 1.7%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は 10,685,283千円となり、前年同期売上高10,099,571千円に対して 5.7%増となりました。営業利益は、422,267千円となり、前年同期営業利益408,336千円に対し 3.4%増となりました。上記の通り、バッグ・小物における一部ブランドの入荷不足や積極的な店舗投資が影響しております。同様に、経常利益は408,177千円となり、同3.4%増となりました。四半期純利益は、前年同期と比べ閉店に伴う特別損失が発生しなかったこと等により、242,285千円となり、同 7.7%増となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,831,088千円となり、前事業年度末と比較して179,144千円減少しております。これは主として、商品が870,059千円増加したものの、現金及び預金が926,708千円、売掛金が138,493千円減少したことが要因であります。

## (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,820,466千円となり、前事業年度末と比較して166,066千円増加しております。これは主として、建物が118,688千円、敷金及び保証金が38,328千円増加したことが要因であります。

（流動負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、3,772,663千円となり、前事業年度末と比較して162,702千円減少しております。これは主として、電子記録債務が81,316千円、その他が51,049千円増加したものの、支払手形及び買掛金が181,715千円、1年内返済予定の長期借入金が69,917千円、賞与引当金が32,236千円減少したことが要因であります。

（固定負債）

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,551,883千円となり、前事業年度末と比較して69,566千円減少しております。これは主として、長期借入金が95,947千円減少したことが要因であります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、2,327,007千円となり、前事業年度末と比較して219,189千円増加しております。これは主として、利益剰余金が204,899千円増加したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ876,710千円減少し、1,824,674千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は453,804千円（前年同四半期は123,302千円の収入）となりました。これは、主として税引前四半期純利益398,763千円、売上債権の減少138,621千円、減価償却費101,334千円があった一方で、新規出店等に伴うたな卸資産の増加871,516千円、仕入債務の減少100,399千円、未払消費税等の減少62,595千円、賞与引当金の減少32,236千円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は66,466千円（前年同四半期は19,783千円の収入）となりました。これは、主として定期預金の払戻による収入50,000千円、敷金及び保証金の回収による収入2,502千円があった一方で、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得66,105千円、敷金及び保証金の差入38,606千円の支出、ネットワーク増強等に伴う無形固定資産の取得6,470千円、定期預金の預入による支出6,004千円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は356,439千円（前年同四半期は745,762千円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入980,000千円があった一方で、長期借入金の返済1,145,864千円、長期未払金の返済150,502千円、配当金の支払37,298千円、リース債務の返済2,701千円があったこと等によるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月12日に公表いたしました平成30年8月期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,904,386	1,977,677
売掛金	924,684	786,191
商品	3,929,246	4,799,306
貯蔵品	116,753	118,209
その他	135,164	149,704
流動資産合計	8,010,233	7,831,088
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	660,413	779,101
構築物(純額)	19	17
工具、器具及び備品(純額)	260,138	260,601
リース資産(純額)	6,812	4,111
有形固定資産合計	927,384	1,043,832
無形固定資産		
ソフトウェア	19,138	25,655
ソフトウェア仮勘定	-	2,099
無形固定資産合計	19,138	27,754
投資その他の資産		
敷金及び保証金	560,854	599,182
その他	147,258	149,732
貸倒引当金	△236	△36
投資その他の資産合計	707,877	748,879
固定資産合計	1,654,400	1,820,466
資産合計	9,664,634	9,651,555

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	973,653	791,938
電子記録債務	330,705	412,021
1年内返済予定の長期借入金	1,751,602	1,681,685
未払法人税等	163,762	154,708
賞与引当金	100,200	67,964
ポイント引当金	11,872	10,799
資産除去債務	4,326	3,254
その他	599,244	650,293
流動負債合計	3,935,365	3,772,663
固定負債		
長期借入金	2,954,358	2,858,411
資産除去債務	183,688	194,095
その他	483,403	499,377
固定負債合計	3,621,449	3,551,883
負債合計	7,556,815	7,324,547
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,448,383	1,653,282
自己株式	△35,791	△35,863
株主資本合計	2,050,736	2,255,563
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△302	4,217
評価・換算差額等合計	△302	4,217
新株予約権	57,384	67,226
純資産合計	2,107,818	2,327,007
負債純資産合計	9,664,634	9,651,555

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)
売上高	10,099,571	10,685,283
売上原価	7,666,759	8,144,969
売上総利益	2,432,811	2,540,313
販売費及び一般管理費	2,024,475	2,118,045
営業利益	408,336	422,267
営業外収益		
受取利息	126	124
受取配当金	299	392
業務受託料	564	482
受取保険金	-	911
為替差益	1,192	-
その他	1,281	1,130
営業外収益合計	3,464	3,041
営業外費用		
支払利息	16,417	13,584
その他	931	3,548
営業外費用合計	17,348	17,132
経常利益	394,451	408,177
特別損失		
固定資産売却損	1,093	-
固定資産廃棄損	7,670	9,413
減損損失	3,240	-
店舗閉鎖損失	10,500	-
投資有価証券償還損	853	-
特別損失合計	23,359	9,413
税引前四半期純利益	371,092	398,763
法人税、住民税及び事業税	132,237	132,367
法人税等調整額	13,900	24,110
法人税等合計	146,137	156,478
四半期純利益	224,954	242,285



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	371,092	398,763
減価償却費	104,950	101,334
減損損失	3,240	-
店舗閉鎖損失	10,500	-
株式報酬費用	4,680	9,842
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△300	△200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,480	△32,236
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	970	△1,072
受取利息及び受取配当金	△425	△516
支払利息	16,417	13,584
為替差損益 (△は益)	△1,192	-
固定資産廃棄損	7,670	9,413
売上債権の増減額 (△は増加)	101,613	138,621
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△582,123	△871,516
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,609	△100,399
未払金の増減額 (△は減少)	24,062	△5,712
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,502	△62,595
その他	33,166	99,767
小計	156,907	△302,920
利息及び配当金の受取額	686	443
利息の支払額	△16,092	△13,362
法人税等の還付額	1,170	26
法人税等の支払額	△19,369	△137,992
営業活動によるキャッシュ・フロー	123,302	△453,804
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△56,005	△6,004
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△40,399	△66,105
無形固定資産の取得による支出	△1,526	△6,470
投資有価証券の取得による支出	△2,053	△2,131
投資有価証券の償還による収入	50,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△17,264	△38,606
敷金及び保証金の回収による収入	605	2,502
子会社の清算による収入	35,825	-
その他	600	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,783	△66,466
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	480,000	980,000
長期借入金の返済による支出	△1,058,300	△1,145,864
社債の償還による支出	△10,000	-
長期未払金の返済による支出	△116,800	△150,502
リース債務の返済による支出	△2,701	△2,701
配当金の支払額	△37,960	△37,298
自己株式の取得による支出	-	△72
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△745,762	△356,439
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△602,676	△876,710
現金及び現金同等物の期首残高	2,553,524	2,701,384
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,950,847	1,824,674

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。